

活動レポート

青年技術士交流委員会

学校へ行こう！シリーズ第3弾 2009 北海学園大学編など

■学校へ行こう！ 2009 北海学園大学編

青年技術士交流委員会では、平成21年11月11日(水)に「学校へ行こう！」企画第3弾で、北海学園大学工学部社会環境工学科に行ってきました。この活動はこれから社会に出て技術者となる大学生達に、技術者として働く楽しさを若手技術士から伝えようという企画で、昨年からはじめ、今回で3回目、北海学園大学での開催は2回目となります。

学生さんが眠くならず、理解しやすい内容となるようハードとソフトの両極端な話題、両極端なキャラクターの講師による講演を行いました。

はじめに永井幹事より技術士について以下のような内容で簡単な説明を行いました。

1. 技術士とは？
2. 技術士資格は必要か？
3. 技術士資格は何の役に立つか？
4. どうすれば技術士になれる？



永井技術士 (青技交幹事)

次に、土木の仕事について、施工管理と設計手法の観点から、滝澤幹事による土木ど真ん中の講演です。身の回りの土木構造物とその役割・重要性を紹介し、学校で勉強していることの役立て方、地図に残る仕事へのやりがいについてお話いただきました。

続いて、河川の調査・計画の仕事について、山本幹事による1つ目の講演とは対照的なソフトな内容の講演です。河川の不思議な構造物についてのテンポの良い説明と、洪水対策と環境保全の両方の視点で河川環境をどのように考えていったかをお話しいただきました。皆さん眠らずに、とても真剣に聞いていました。



滝澤技術士 (青技交幹事)



山本技術士 (青技交幹事)

最後に質問コーナーです。

参加した約50人の学生達から各講演に関する質問を受け付け、「新入社員で現場に出た時の戸惑いは?」「どうして今の職場を選んだのですか?」「防災と自然で優先させるとしたらどちらですか?」「自

分の子どもに土木の仕事に関わってほしいですか？(超難問!）」など、鋭い質問、回答に苦慮するものがありました。学生の方々と対話しながら講師以外の幹事も交えて回答していきました。

講演後、簡単なアンケートを実施しました。結果は以下のとおりで大変好評でした。講義時間を提供して頂いた社会環境工学科嵯峨教授からも「社会でバリバリ働く人の話は学生が就職を考えるのにとっても参考になる」との評価を頂いています。

【アンケート結果】

- | |
|---|
| Q 1：講演はおもしろかったですか？
→非常に面白かった (62%)、面白かった (32%) |
| Q 2：技術士について理解は深まりましたか？
→非常に深まった (40%)、深まった (55%) |
| Q 3：講演は役に立ちましたか？
→非常に役に立つ (51%)、役に立つ (47%) |

講義内容も回を重ねるごとにレベルアップしていきます。青技交では、次世代の技術者・技術士の育成の一助となるよう、今後もこの活動を続けて行きたいと考えています。



実施状況

(文責：青年技術士交流委員会幹事 永井登茂美)

■青年技術士交流委員会 20 周年記念会

読者の皆様、青年技術士交流委員会は、平成元年 10 月「13 日の金曜日」、「仏滅」、「三隣亡」というすばらしい日に、誕生したことをご存じでしょうか？

当時は北海道技術士センターの下で「青年技術士

協議会」と称していましたが、3 年前に北海道技術士センターが(社)日本技術士会北海道支部と統合されたため、現在の「青年技術士交流委員会」となっています。

この度、当会の 20 周年 (実は昨年度が 20 周年目でした!)を記念して、11 月 17 日(火)、ホテルモントレー・エーデルフォフにおいて、歴代幹事の方々をお招きして、これまでの活動を振り返る 20 周年記念会を開催しました。

記念会では、能登初代会長をはじめ、歴代幹事総勢 28 名 (現幹事 15 名含まない) の方にご出席いただくことができました。

また、来賓として齊藤支部長はじめ支部役員の皆様にも多数ご参加いただきました。

一方で、当会の活動を最も長きにわたって支えてくださった加治屋前委員長 (幹事 1 期・副会長 3 期・会長 2 期の 12 年間) が今年 8 月 24 日にお亡くなりになり、参加していただけなかったことは本当に残念でなりません。



樋詰現委員長の挨拶



記念会の様子

記念会の中で、齋藤支部長や歴代幹事のから、これまでの当会の活動に対する労いのお言葉や、現在、そしてこれからの当会の活動に対しての期待等、多くの叱咤激励をいただきました。

設立当時から脈々と流れる「青年技術士・魂」とも言える熱き想いは、時代は流れども、しっかりと受け継いで、また、後から続く青年技術士に引き継いでいきたいと強く感じました。

歴代幹事の皆様、次は10年後の30周年記念会でお会いしましょう！

■技術者交流フォーラム

当会では、独立行政法人土木研究所・寒地土木研究所・道央支所との共催で、「第5回技術者交流フォーラム in 小樽」を、12月1日(火)グランドパーク小樽にて開催しました。

テーマに北海道の主要産業である『観光』にスポットライトを当て、後志観光の現状や課題について有識者から話題提供や、観光を支える道路インフラに関する研究の動向を紹介していただいた後、会場全体を巻き込むような形で情報交換的なパネルディスカッションが行われ、観光と道路インフラに関わる新たなニーズや技術開発の方向性を探る議論が行われました。



会場の様子

〈第一部 講演会〉

基調講演「北海道観光 観光産業従事者の勘違い」

海老名 誠氏

(小樽商科大学ビジネス創造センター長教授)

講演「後志の道路の景観について」

倉内 公嘉氏 (小樽開発建設部次長)

講演「北海道における道路の魅力向上と観光への貢献」

松田 泰明氏 (寒地土木研究所地域景観ユニット)

講演：「北海道らしい道路構造」

葛西 聡氏 (寒地土木研究所寒地交通チーム)

講演「ジオツーリズムと後志の道」

鈴木 哲夫氏 (HRS 株式会社代表取締役)

〈第二部 パネルディスカッション〉

「これからの後志観光とそれを支える道路インフラについて考える」

【コーディネーター】大津 晶氏 (小樽商科大学社会情報学科准教授)

【パネリスト】海老名誠氏、倉内公嘉氏、牧野和夫氏 (北海道中央バス株式会社代表取締役)、田口智子氏 (FM おたるパーソナリティー)、松田泰明氏



パネルディスカッション登壇者

■テクニカルスクール

「タイプ分けコーチングの基礎」

7月に実施し、好評に終わった前回のテクニカルスクール「コーチングの基礎」に引き続き、PHP 研究所の笹森氏を講師にお迎えし、「タイプ分けコーチングの基礎」を学びました。

今回も演習を交えた実践的な研修を行いました。

まずは、参加者の【タイプ別診断】を行い、4つのタイプに分類し、それぞれのタイプ別にテーブルを分けて、演習を行いました。

4つのタイプとは、「支配・管理型 (ガバナー)」、

タイプ	特 徴
ガバナー	自分の思い通りに物事を進めることを好む。行動的、野心的、エネルギッシュ。決断力がある。支配的、威圧的。人間関係より仕事優先。正義感が強い。保身的な態度を嫌い、正直であけっぴろげな性格。人の話を聴かず、結論を急ぐ。
プロモーター	アイデアが豊富で創造力もある。人と活気のあること、楽しいことをするのが大好き。あまり深く物事にとらわれていないところがある。細かいことはあまり気にとめない。時にうぬぼれやお調子者と言われる。よく笑う。あきっぱい。
サポーター	人を援助することを好む。何よりも「気持ち」を優先していく傾向がある。感情に基づいて判断する。あたたかく、穏やか。計画や目標をたてることにはあまり関心はない。決断には時間がかかる。リスクを冒すのは苦手。仕事よりも人優先。
アナライザー	少し堅物そうで、真面目そうにみえる。あまり感情を表に出さないため、物事に対して関心がないように見える。一般に無口。物事に取り組む時、データを集め、分析する。客観的で冷静な思考を持っているので、細かい分析や戦略プラン立案などの役割が得意。失敗や間違いが嫌い。粘り強く最後までやり遂げる。

「増進・助長型（プロモーター）」、支持・援助型（サポーター）」、「分析・戦略型（アナライザー）」です。

それぞれのタイプに応じたコーチング手法があり、その基礎的な考え方を学びました。

参加者は、相当タイプ分類が当てはまるのか、3時間の間、大変盛り上がりました。ちなみに、当会幹事のガバナーは2名だったようです。

当会では、今後も青年技術士・技術士補の皆様が関心の高いテーマをとりあげ、研修会等を開催していく予定です。是非、ご参加ください。



大いに盛り上がった様子

(文責：青年技術士交流委員会幹事 奈良 照一)



講師の笹森氏



研修会の実施状況

EPO（エンジニア・パーク・オンライン）のご案内

青年技術士交流委員会では、社団法人日本技術士会会員及び技術士補を含む準会員、北海道支部賛助会員全員を対象として、メーリングリスト「エンジニア・パーク・オンライン（EPO：エポ）」を1998年（平成10年）12月1日より開設しています。2009年9月現在、約600名の方が加入されています。

EPOに登録を希望される方は「①ご自身の氏名と所属」、そして「②社団法人日本技術士会の会員、準会員、北海道支部賛助会員」であること、「③メーリングリスト登録希望」の旨を本文に書き、以下のメールアドレスまでeメールを送ってください。

メーリングリストとは、メールに登録会員全員に同報配信する仕組みで、特定のことがらに詳しい人を探したり、講習会や行事等の案内、会員相互の様々な情報交換に重宝なものです。メーリングリストEPOに関するお問い合わせについても、次のメールアドレスまでご連絡ください。

メーリングリスト申込用メールアドレス
seigikyo@ipej-hokkaido.jp

※テキスト形式のみで受け付けています。